



## 理念

1. 信頼される病院
2. 心温まる病院
3. 楽しく働ける病院

## 基本方針

- 地域における医療福祉の向上につとめ、地域住民のいのちと健康を守ります。
- 地域の中核病院として、地域の医療機関と連携・協力を図ります。
- 二次医療を中心に担当します。
- 医療需要の増大と多様化に対応できる病院づくりを目指します。
- 超高齢社会における治す医療と支える医療の両立を目指します。

## 第27回 鳥取医学賞受賞

### 内科 谷水将邦 診療局長が 鳥取医学賞を受賞しました

平成30年6月16日（土）、当院診療局長 谷水将邦医師が第27回鳥取医学賞を受賞し、受賞講演を行いました。授賞式及び講演は、鳥取県医師会会員総会席上で執り行われました。

鳥取医学賞は、前年の鳥取医学雑誌に投稿された論文の中から選考され、優秀な論文について「鳥取医学賞」として表彰されるものです。

本会では、白寿・米寿・喜寿のお祝い、医業50周年、永年役員、鳥取医学雑誌新人優秀論文賞の表彰が行われました。その中で、鳥取医学賞として、今回の定例代議員会役員改選で新会長に選出された渡辺憲 会長から賞を授与されました。その後、「鳥取医学賞講演」として谷水医師による今回の症例検討についての講演が行われました。

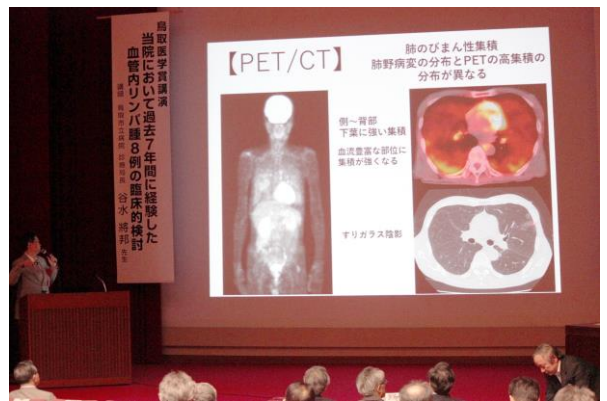
受賞した谷水医師からコメントをいただきました。

### 谷水医師から感謝の言葉

この度は、鳥取医学雑誌2017；Vol.45,No2,P69-74. に掲載された原著の「当院において過去7年間に経験した血管内リンパ腫8例の臨床的検討」が、鳥取医学賞に選出され、大変光栄に思っております。日頃の血液診療での疑問や、疾患の早期診断・早期治療介入に結びつけるにはどうすべきかを考えて行った後方視的な症例検討です。悪性腫瘍の診療では、こういった振り返りは時に必要だと考えています。今後も地域医療に貢献するために、自分のできる範囲ですが、当院の血液診療のレベルを上げるべく研鑽を続けていきたいと思っております。



授賞式での谷水医師(左)と渡辺 鳥取県医師会長(右)



受賞講演の様子



講演中の谷水医師

## 院内防災訓練を行いました

4月に採用となった新規職員がそろそろ慣れてくる6月中旬ごろに、新規採用者を対象とした院内防災訓練を行っています。

院内の間取りは結構分かってきたけれども、院内の防災設備については知らないことがいっぱいです。まずは講義形式で、院内防災時マニュアルの説明から始まり、次に防災設備を間近で確認、消火栓を使用した放水訓練、救助袋の設営と降下訓練、消火器使用訓練を行いました。

有事に適切な対応や行動を取るためには日頃からの準備、訓練および知識の集積が不可欠です。つい最近でも大阪北部で大きな地震が発生しました。災害はいつ起きても不思議ではありません。医療機関としての責務を果たすべく、このような訓練を病院全体で取り組んでまいります。



救助袋設営・降下訓練



消火器使用訓練（訓練用の消火器で中身は水）

## 第50回 市民医療講演会

講演

ちょっと気になるタバコの話  
～知っていますか？新型タバコ～

鳥取市立病院 総合診療科 廣谷 茜

禁煙してみませんか

日本禁煙学会認定指導看護師 栗田 香代子

開催日時

平成30年 7月 28日(土) 10:00～11:30

会場

さざんか会館 5階大会議室

駐車場はさざんか会館駐車場、鳥取市役所駅南庁舎駐車場をご利用ください。

手話を使ってみよう!



サッカー



右手の人差し指と中指で人の足に、左手の人差し指と親指で輪を作ってボールに見立てます。右手の指で左手の輪を蹴るような動作をします。

※写真では左指の輪を立てて見せていますが、実際は輪を寝かせて表現して下さい。

鳥取市立病院まつり

わくわく 病院探検隊!!

病院内の見学や、楽しい体験コーナーなどを予定しています。ご家族・お子様連れでお越しください!

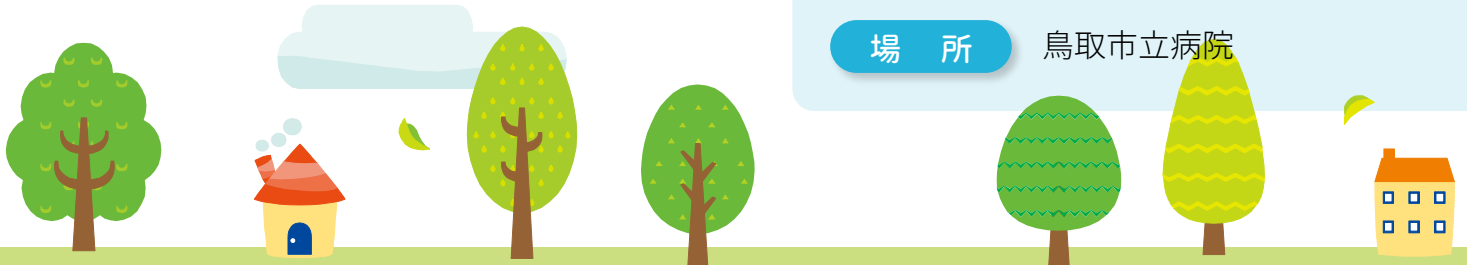
開催日時

平成30年 8月 4日(土)

13:00～16:00

場所

鳥取市立病院



## 倉繁拓志先生の修業記 その6

こちらは5月からすっかり春めいて、6月に入ってから春を通り越して夏のような暑さもあつたりします。そのため、5月下旬にはプール開きがあり、暖かい日にはアパートのプールで泳いでいる人も見かけます。

さて、以前ご報告しました通り今まで住んでいたアパートは洪水や火災報知器騒ぎで何かと問題がありましたが、そのアパートの契約がそろそろ更新時期ということ、子供達が成長しアパートが手狭になったこと、金銭的なことを考慮すると一軒家への引っ越しが最善と考え、契約が切れる6月に引っ越しをすることにしました。何かと準備や手続きが必要となってくるため、3月頃から家を探し始めました。子供たちがやっと慣れてきた学校を転校することは極力避けたかったので、ビーチウッド校区内の物件に絞って探したところ、条件に合う物件が数件見つかり、さっそく不動産会社に連絡をとって見学を申込みました。既に一軒家に住んでいる日本人の同僚にも同行頂いて、チェックすべき個所を聞きながら条件などを吟味していきました。この見学時に驚いたのは、まだ住民が住んでいても見学可能で、家の中ではご主人と大学生の息子さんがソファでリラックスしてテレビを見ていたのが印象的でした。このご主人は親切に不動産屋さんと一緒に色々と部屋の中の案内もしてくれました。

見学したうちの1件、以前住んでいたアパートから車で約10分程の場所にある物件を家族全員が気に入ったため、すぐに申し込みました。引っ越し当日は日本人の同僚5名程に荷物の運搬のお手伝いをお願いして引っ越ししました。日本では業者に依頼するのが通

例ですが、こちらではできることは自分たちですらうので、荷物の運搬にはトラックをレンタルして家具などを運びました。運搬中に荷物が倒れて電気スタンドが曲がったり、ソファが大きすぎて玄関のドアを一旦外してから家の中に持ち込んだり、トラックを返す前にドアが閉まらなくなったりトラブルはあったものの、何とか無事に引っ越しを終えました。さすがにその日は妻も私も疲労困憊で、寝る場所だけ確保して早々と寝てしまいましたが、次の日の朝、新しい我が家の裏庭に鹿が寝ている姿を子供たちが見つけ、はしゃいで呼び起こしに来ました。一軒家に引っ越しして驚いたのは、家の周囲は綺麗に芝生が敷き詰められているのですが、これを管理するのはその住民の責務で、芝を刈らずに放置すると罰金を科せられることです。そのため、芝刈り機を購入して自分で刈るか、業者に頼んで定期的に手入れをしてもらう必要があります。人生で初めての一軒家暮らしで少々戸惑うこともありますが、何とか乗り切っています。住み始めてから初めて分かる不便な点は多々ありますが、アメリカに来てから私自身大らかになったのか、少々のは何とかなるかなと思うようになり、大家さんと相談しながら進めているところです。

ラボの研究については、ようやくスランプを抜け、マウス心移植の成功率も上がって、着実に前進しているように思います。引っ越しという大イベントを終え住まいも変わり、心機一転。研究の方もこれまで以上に頑張っ参りたいと思います。



新しい家と、引っ越しに使用したトラックに



庭に現れた鹿

